令和５年度　青森市立幸畑小学校　学校経営の方針

教育目標	**本気**	**勇気**	**元気**
	未　来　を　拓　く　幸　畑　の　子		
努力目標	**楽しく学習する子**	**自他を大切にする子**	**心と体をきたえる子**
学校課題	めあてをもち、進んで学び、問題解決する力の伸長 基礎的基本的事項をもとにした活用力 家庭、地域との連携	お互いの気持ちを考え自らを律すること 集団の中できまりや約束事を守ること やさしい気持ちで物事に接すること	健康でたくましい心と体 安全で規則正しい生活習慣

学校経営の方針

明るく活気のある学校
～集団や社会の中で自己を生かせる子供の育成を目指して～

集団や社会の中で自己を生かせる子供を育成するため、確かな子供の理解に立ち、日々の授業や行事などにおいて「自分はできる。他者から認められている。」と、繰り返し実感させることにより、自他を尊重する態度を育て、新たなことに挑戦する意欲を高める。

今年度の重点事項

①日々の積み重ねを大切にした開かれた教育活動　～社会に・地域に・家庭に・校内に～
②子どものよさや可能性を生かし、結果よりもプロセスを大切にする教育活動
③活動のねらいの明確化が図られた教育活動
　～全てが教育目標に・子どもに育てる力の具体化・子どもとのねらいの共有～
④複眼の教育 、子ども一人一人の思いが大切にされていると実感できる教育活動
⑤協働して納得解を見いだす活動を重視した教育活動（プロジェクト型学習・ＡＩドリル）
⑥基礎学力定着と学力向上に資する家庭学習の習慣化と個別最適化な学びの推進（ＡＩドリル）
⑦幼保・小・中の連携・円滑な接続が図られ、発達段階に応じた育ちを見通した教育活動
⑧よい心、よい行動、心遣いはよい言葉遣いから生まれる。正しい言葉遣いが交差する教育活動
⑨正しい食習慣、運動習慣を身に付けさせ、体力向上を目指した教育活動
⑩教具としてのＰＣ（chromebook・2in1）を効果的に活用したＩＣＴ教育活動
⑪新たな感染症対策が適切に講じられた教育活動

めざす学校像

明るく楽しく美しく、学力と成長を保障する学校

① 気持ちのよい挨拶と元気な返事、正しい言葉が響く明るい学校
② 整った教育環境のもと、掃除が行き届き清潔感あふれる学校
③ 学習規律を重んじ、学ぶ意欲（成就感・達成感）を育てる学校

めざす子供像

よく学びよく遊び心身ともに健やかな子ども

①楽しく学習し、落ち着いてよくは聴き、よく考える子ども
②思いやりのある、心豊かな子ども
③すすんで体をきたえる、健康な子ども
④よりよい生活を築く、明るい子ども
⑤粘り強く最後までやり抜く、意志の強い子ども

めざす教職員像

あたりまえのことを徹底的にやる教師

①愛情と信頼に基づき、子どもと保護者の心に寄り添った温かみのある教育を実践し、子ども、保護者、地域から信頼される教師
②学び続け、授業の充実を図る教師
③自己の使命（教育目標の具現）を自覚し、責務を果たす教師
④隠さず、抱え込まず、幸畑の子ども全ての担任という意識をもち、問題解決にチームであたる教師（チームワーク・フットワーク・ネットワーク）
⑤職員の和をもって支え合う、協調性といたわりの心をもった教師

めざす保護者像

自信をもって後ろ姿を見せられる保護者

①子どもの模範として行動し、躾ることができる保護者
②他者への迷惑を戒め、他者を思いやることができる保護者
③ＰＴＡ活動に積極的に参加し、自らも学び続ける保護者

◎　教育目標・努力目標達成のための主な取り組み

【知】基礎・基本の確実な定着と学習習慣の確立

（１）学習指導の充実

①「やってみたい！分かった！できた！」と実感できる授業実践

・自己有能感（自己有用感＋自己肯定感→自分は頑張ればできる）の向上を目指した授業実践の日常化
・ＩＣＴ活用による学習指導の効率化と主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善
・個に応じた指導の工夫･改善（理科･社会科専科、一部教科担任制等）
・ねらいを明確にした学習活動の実践(どんな子供に育てたいかを具体的に)
・生徒指導の三機能を生かした授業づくり(自己決定の場・自己存在感・共感的人間関係)
・学びの過程の振り返り(メタ認知による自信と意欲の向上)

②「見える学力」と「見えない学力」の育成

・水曜日を除く朝の「読書タイム」と「ドリルタイム」の有効活用
・ＡＩドリルを学校・家庭で積極的に活用した個別最適化学習の推進
・「家庭学習の手引き」に基づく家庭学習の習慣化（学年×１０分＋１０分）
・「家庭学習記録シート」の活用による家庭学習の習慣化の促進

③学習指導要領の着実な実施

・年間指導計画の活用と実践を通した改善（振り返りの場を年間指導計画に明記）
・総合・生活科の教科横断的な単元配列表の作成
・授業時数の確保

（２）社会の変化に対応する力の育成

①環境教育の充実

・行政、企業による環境出前授業の活用
・プロジェクト型学習の推進
例えば、総合的な学習の時間を通した環境教育（ＳＤＧｓの視点を取り入れる）
（「調べてまとめて発表する」から「協働して納得解を見出す」学習への転換）

②国際理解教育の充実

・外国語活動・外国語科を通したコミュニケーション能力の育成
・身近な地域の自然や歴史等の理解

③情報教育の充実

・発達段階に応じたプログラミング教育の推進
・情報モラルに関わる指導（ネット上の悪口・中傷の書き込み防止　等）

④防災教育の充実

・災害時における児童引渡しや第２次避難場所に関わる約束事の家庭への周知
・集団下校訓練、保護者引渡し訓練、第２次避難場所への避難行動を想定した訓練等の実施
・家庭を対象にした学校からの緊急情報配信サービス制度登録の奨励

（３）研修の充実

①同僚性を生かした指導力向上と研修の日常化

・全学年見せ合い授業の実施による指導力の向上と研修の日常化

②現職教育を通した資質向上

・ICT活用指導力を高める研修等の実施（長期休業中　等）

【徳】思いやりの心と規範意識の育成

（１）道徳教育の充実

①「特別の教科　道徳」の充実

・教科用図書や心に響く教材、保護者からの励まし等の有効活用
・長期的な視点による児童の道徳性や学習状況の把握（大くくりなまとまりを踏まえた評価）

②日常生活や体験活動を生かした指導

・気持ちのよい返事・挨拶の励行
・身近な地域の自然や人々に触れる体験及び飼育栽培活動等との関連強化
・よい行いはよい言葉遣いから生まれ育つ（職員、児童共に名前に～さんを付け話す等）

（２）特別活動の充実

①互いのよさや可能性を発揮し、自主的、実践的に取り組む態度を育む学級活動・児童会活動、学校行事の実施

・自己有能感を高める場の設定と自覚のさせ方の工夫

②社会性や思いやりを育む諸活動の実施

・異年齢集団による活動（クラブ活動、縦割り班清掃、全校遠足、集団下校　等）の工夫

（３）生徒指導の充実

①授業における生徒指導の充実

・よりよい人間関係の構築、自己有能感の向上を目指した授業

②いじめ、不登校等の予防

・毎月の「いじめアンケート」及び長期休業前の個人面談の実施

・気になる児童の共通理解（職員会議、毎週金曜日終会時）、及び「生徒指導校内委員会（いじめ対策校内委員会）」による組織的な対応

・スクール・カウンセラーを活用した教育相談

③家庭、地域社会、関係機関と連携した健全育成

・「学区を知る日」の設定（年度始め）

・夏期休業中における保護者との二者面談の実施

・リトルＪＵＭＰチームによるいじめ・問題行動防止の啓発

・三校合同地域懇談会（小・中学校、八甲田交番、ＰＴＡ、地域関係者により構成）、筒井中学校区連絡協議会（小・中・高、ＰＴＡ校外指導部による構成）の実施

（４）キャリア教育の充実

①キャリア教育の視点を生かした「総合的な学習の時間」の工夫

・他者のために役立つことの喜びを体得させる活動

・郷土の先人や身近な人に学び、自己の生き方につなげる活動

（５）特別支援教育の充実

①校内支援体制の充実

・特別支援教育コーディネーターが中心となった特別支援校内委員会による支援を必要とする児童の支援方法等の検討

・個別の指導計画、支援計画に基づく指導内容等の工夫・改善

・特別支援教育支援員、特別支援教育巡回相談員の活用

②交流及び共同学習の推進

・通常学級担任と麦のめ、しあわせ学級担任との共通理解を踏まえた全教職員による指導と交流

（６）家庭、地域社会との連携の充実

①家庭、地域社会への説明責任の履行

・「学校運営グランド・デザイン」配付による経営方針や重点等の周知

・学校・学年だよりによる情報発信

・感染症対策を徹底した上での「全校参観日」（年４回）、学校公開日（年１回）の設定

・学校評価の結果と改善策の公表、学校評議員の声を生かした学校運営の工夫

②ＰＴＡ活動における各種ボランティア活動との連携推進

・６つの常設ボランティア（運営委員、運動会準備、校外、ベルマーク、プール監視、幸小まつり）との連携

③幼保小連携、小・中連携の推進

・幸伸保育園及び幸畑保育園の園児との交流（幼保小架け橋期のカリキュラムの作成）

・横内中学校、筒井中学校との連携（各種協議会を通した情報連携、相互授業参観、出前授業、行事を通した児童生徒の交流、作品交流）

④地域人材の積極的活用

・町会等の協力を得た登校時における学校前信号機での安全確保と下校時の見回り

・地域学校協働活動事業における学校支援ボランティア活用の推進･充実（水泳・スキーの支援、校外学習の補助、調理・ミシン実習の支援、図書の整理、本の読み聞かせ　等）

【体】継続的な体力の向上と危険予測・回避能力の育成

（１）体育、健康・安全教育の充実

①継続的な体力向上の推進

・全校マラソン大会を目指した教科体育や休み時間でのマラソン（夏季）への継続的な取組

・教科体育における体つくりの充実のためのサーキットトレーニングの導入

・一人一人のめあてを明確にした縄跳び（冬季）への継続的な取組

・外遊びの励行（環境整備）

②保健学習・保健指導の充実

・保健だよりや給食だより等を活用した家庭との連携による生活習慣の形成

・栄養教諭の出前授業等を活用した食育に関する指導の工夫

・児童会集会時の保健委員会発表による啓発

・食後の歯磨き指導の徹底

・学校保健委員会に向けての計画・準備・実施

・新たな感染症対策が適切に講じられた教育活動の展開のための指導の充実

③危険予測・危険回避能力の育成

・登校指導の実施

・交通安全教室の実施

・火災、地震を想定した避難訓練

・不審者対応に関わる防犯訓練の実施

④食育チャレンジプログラムの経験を生かした健康保健指導の充実

・短命県返上プロジェクトの継続

・食と健康に関する取組の実施（食育出前授業）

・雨天時の運動プログラムの実施（令和４年度実施の**食育チャレンジプログラム**）